



## 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社  
コード番号 2309 URL <http://www.cmic-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員(情報開示担当) (氏名) 望月 渉

TEL 03-5745-7070

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	12,010	10.8	1,154	△23.7	1,143	△21.0	471	△34.7
23年9月期第1四半期	10,836	46.1	1,512	100.5	1,447	91.1	721	84.1

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 552百万円 (△23.7%) 23年9月期第1四半期 723百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	25.91	—
23年9月期第1四半期	820.82	—

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。23年9月期第1四半期の1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。詳細は、次ページの「(株式分割に伴う遡及修正値)」をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	41,398	17,151	41.3
23年9月期	39,381	16,908	42.8

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 17,098百万円 23年9月期 16,857百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	0.00	265.00	0.00	17.00	282.00
24年9月期	0.00				
24年9月期(予想)		15.50	0.00	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。23年9月期第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。詳細は、次ページの「(株式分割後の配当金の状況についてのご注意)」をご覧ください。

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,400	19.1	2,000	△9.7	1,900	△15.0	1,300	25.2	71.47
通期	51,400	18.0	4,200	9.1	4,000	7.8	2,300	27.0	126.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	18,221,860 株	23年9月期	18,221,860 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	32,620 株	23年9月期	32,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	18,189,240 株	23年9月期1Q	878,936 株

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年9月期第1四半期に係る期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割に伴う遡及修正値)

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値は以下のとおりになります。

平成23年9月期第1四半期 1株当たり四半期純利益 41円04銭

(株式分割後の配当金の状況についてのご注意)

平成23年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の配当状況につきましては以下のとおりになります。

基準日 平成23年9月期 第2四半期末 13円25銭 期末 17円00銭 年間合計 30円25銭

(金額の表示単位の変更)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	10
4. 補足情報 .....	10
受注の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、医療費抑制策の推進や、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界においては、各業務のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、市場規模が緩やかに拡大傾向にあります。

このような環境下において、当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。

当第1四半期連結累計期間においては、各事業領域で人材の効率的な活用、受託機会の拡大等を通じた競争力の一層の強化に努めました。また、IPD事業において、自社開発中の希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)の申請準備を進めるとともに、販売後の安定供給と適切な情報提供・収集体制の構築を図るため、株式会社メディパルホールディングスと希少疾病用医薬品を中心とした医薬品等の開発、製造、販売を目的とした合弁会社設立について基本合意書を締結し、設立準備を進めております。

さらに、当社の事業モデルをより明確化し、各事業における意思決定機能の迅速化を図り成長を加速させるとともに、シミックグループの新たな経営体制を確立することを目的として、平成24年1月4日付で持株会社制へ移行するための準備を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は12,010百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は1,154百万円(同23.7%減)、経常利益1,143百万円(同21.0%減)、当期純利益471百万円(同34.7%減)となりました。

#### [CRO事業]

売上高	4,455百万円(前年同期比)	397百万円増、	9.8%増)
営業利益	866百万円(同)	69百万円増、	8.7%増)

当事業においては、製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、モニタリング業務において大型案件の新規受注を獲得するとともに、モニタリング業務、データマネジメント業務において既存案件が順調に進捗したこと、また平成23年5月にグループ会社化したシミックメディカルリサーチ株式会社及び株式会社シミックバイオリサーチセンターの売上が加わったこと等により、売上高及び営業利益が前年同期を上回りました。

#### [CMO事業]

売上高	4,120百万円(前年同期比)	512百万円増、	14.2%増)
営業利益	381百万円(同)	260百万円減、	40.6%減)

当事業においては、製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援及び分析化学サービスに係る業務を行っております。

平成23年10月1日より、シミックCMO株式会社における製造委受託契約の一部変更に伴い、従来無償支給となっていた原材料を自社調達に切り替えたことから、売上高及び売上原価に当該原材料費相当額が計上されております。その影響により、売上高が増加する一方、営業利益率が低下しております。

当第1四半期連結累計期間においては、シミックCMO株式会社で受注している一部製品の生産が延期したこと、シミックCMO富山株式会社において特定製品の受注が減少したことから、従来契約ベースの売上高及び営業利益は前年同期を下回りました。

## 〔CSO事業〕

売上高	1,399百万円（前年同期比	308百万円増、	28.3%増）
営業損失	5百万円（前年同期	営業損失	28百万円）

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、株式会社シミックエムピーエスエスのMR（医薬情報担当者）派遣業務が好調な受注を背景に前年同期に比べ売上高が大幅に増加する一方、引き続き新規受託案件獲得に向けた人材確保のための採用コスト等の増加により営業損失となりました。

## 〔ヘルスケア事業〕

売上高	2,141百万円（前年同期比	139百万円減、	6.1%減）
営業利益	24百万円（同	174百万円減、	87.5%減）

当事業においては、SMO（治験施設支援）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のSMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社においてプロジェクトの進捗が遅れたこと等により、売上高及び営業利益が前年同期を下回りました。

## 〔IPD事業〕

売上高	20百万円（前年同期比	13百万円増、	176.5%増）
営業損失	113百万円（前年同期	営業損失	97百万円）

当事業においては、診断薬や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）などの開発及び販売に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、当社が腎疾患の診断を目的として開発し平成23年8月より保険適用となった体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット（販売名：レナプロ®L-FABPテスト）」の学術的プロモーション活動を推進しております。

また、希少疾病用医薬品については、現在、急性ポルフィリン症治療薬「ヒトヘミン」、尿素サイクル異常症治療薬「フェニル酪酸ナトリウム」、遺伝性血管性浮腫治療薬「エカランタイド」の3剤の開発を進めてまいりました。「ヒトヘミン」及び「フェニル酪酸ナトリウム」につきましては申請準備の段階にあり、承認後の製造販売に向けた体制整備の一環として、平成23年10月には株式会社メディパルホールディングスと希少疾病用医薬品を中心とした医薬品等の開発、製造、販売を目的とした合弁会社設立に向けた基本合意書を締結いたしました。

当事業の希少疾病用医薬品は開発期間中にあることから、主に研究開発費の計上により前連結会計年度に引続き営業損失が発生しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で2,017百万円増加し、41,398百万円となりました。これは、主に仕掛品の増加と原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で1,774百万円増加し、24,247百万円となりました。これは、主に賞与引当金及び未払法人税等の減少と、短期借入金及びその他の流動負債の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で242百万円増加し、17,151百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月24日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,717	8,417
受取手形及び売掛金	7,717	8,155
商品及び製品	17	328
仕掛品	3,341	4,203
原材料及び貯蔵品	385	1,458
その他	2,269	2,130
貸倒引当金	△4	△7
流動資産合計	22,444	24,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,264	4,213
土地	4,514	4,519
その他(純額)	2,288	2,317
有形固定資産合計	11,067	11,051
無形固定資産		
のれん	1,747	1,643
その他	997	952
無形固定資産合計	2,745	2,596
投資その他の資産		
投資有価証券	484	510
敷金及び保証金	1,392	1,391
その他	1,268	1,182
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	3,124	3,064
固定資産合計	16,937	16,711
資産合計	39,381	41,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,366	2,811
短期借入金	4,027	5,521
未払法人税等	1,066	176
賞与引当金	1,855	506
役員賞与引当金	115	—
受注損失引当金	495	352
その他	3,911	5,350
流動負債合計	12,839	14,718
固定負債		
長期借入金	6,456	6,207
退職給付引当金	2,304	2,442
その他	873	879
固定負債合計	9,633	9,528
負債合計	22,472	24,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,292	6,292
利益剰余金	7,828	7,990
自己株式	△44	△44
株主資本合計	17,164	17,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	111
為替換算調整勘定	△365	△339
その他の包括利益累計額合計	△307	△227
少数株主持分	51	52
純資産合計	16,908	17,151
負債純資産合計	39,381	41,398



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,836	12,010
売上原価	7,827	9,023
売上総利益	3,008	2,986
販売費及び一般管理費	1,496	1,831
営業利益	1,512	1,154
営業外収益		
受取利息	1	2
受取賃貸料	6	5
為替差益	—	10
持分法による投資利益	—	0
受取管理料	12	12
その他	9	10
営業外収益合計	31	43
営業外費用		
支払利息	39	38
為替差損	25	—
出資金等持分損失負担額	21	11
持分法による投資損失	2	—
その他	7	4
営業外費用合計	96	54
経常利益	1,447	1,143
特別利益		
固定資産売却益	2	0
関係会社株式売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	0	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	168	—
その他	—	1
特別損失合計	169	4
税金等調整前四半期純利益	1,285	1,140
法人税、住民税及び事業税	468	177
法人税等調整額	86	491
法人税等合計	555	668
少数株主損益調整前四半期純利益	730	471
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△0
四半期純利益	721	471

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	730	471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	53
為替換算調整勘定	△6	27
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△6	80
四半期包括利益	723	552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	698	551
少数株主に係る四半期包括利益	25	0

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,982	3,600	1,008	2,236	7	10,836	—	10,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	7	81	44	—	208	△208	—
計	4,057	3,608	1,090	2,281	7	11,045	△208	10,836
セグメント利益	796	642	△28	198	△97	1,512	0	1,512

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,413	4,115	1,359	2,100	20	12,010	—	12,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	5	39	40	—	128	△128	—
計	4,455	4,120	1,399	2,141	20	12,138	△128	12,010
セグメント利益	866	381	△5	24	△113	1,153	0	1,154

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間  
(自 平成23年10月1日  
至 平成23年12月31日)

## (持株会社移行に伴う会社分割)

当社は、平成23年11月17日開催の取締役会での決議により、平成23年12月15日開催の株主総会の承認を得て、平成24年1月4日をもって当社のCRO（医薬品開発支援）事業を会社分割（新設分割）により、新設会社となるシミック株式会社に分社し、持株会社体制に移行いたしました。また、同日付で当社は、シミックホールディングス株式会社へ商号変更いたしました。

分割会社の概要は以下のとおりです。

① 商号	シミック株式会社
② 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中村 宣雄
③ 資本金	100百万円
④ 事業内容	CRO事業

## (連結子会社の合併)

当社は、平成24年1月24日開催の取締役会において、当社連結子会社であるシミック株式会社とシミックメディカルリサーチ株式会社を合併することを決議いたしました。

## (1) 合併の目的

CROのリーディングカンパニーであるシミック株式会社と、平成23年5月31日付で当社の子会社となったシミックメディカルリサーチ株式会社の両社の人材を効率的に活用し、製薬企業からの受託機会の拡大及び効率性の向上を図ることを目的としております。

## (2) 合併の要旨

## ① 合併の日程

平成24年3月1日（予定）

## ② 合併方法

シミック株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、シミックメディカルリサーチ株式会社は解散いたします。

## 4. 補足情報

受注の状況

受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業	4,077	18,111	6,623	24,955	21,136	22,745
CMO事業	2,596	2,641	5,097	3,905	12,803	2,923
CSO事業	520	2,012	1,512	3,356	5,217	3,203
ヘルスケア事業	2,478	9,529	3,455	12,881	11,312	11,526
IPD事業	7	—	20	—	33	—
合計	9,681	32,294	16,709	45,097	50,503	40,398

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。